



◎ダムをつくれ！（ダムはダムでも人口の流出を防ぐ人口ダム機能を）

転入・転出超過の上位5都道府県	転入超過		
	1	東京	12万3000人
	2	埼玉	9万6000人
	3	愛知	8万4000人
	4	神奈川	7万5000人
	5	千葉	4万6000人
	転出超過		
	1	福島	4万7000人
	2	青森	1万6000人
	3	秋田	1万3000人
4	大阪	1万人	
5	長崎	8000人	

先週の新聞で興味深い記事がありました。28日の記事で15年の国勢調査で本県の転出超過が全国5位であることが公表されました。前日27日の記事では北九州が複数の雑誌の「住みたい・暮らしやすい街ランキング」の特集で1位になったとあります。

実は昨年早い時期に北九州市は政令指定都市・県庁所在地の中で人口減少率ワースト1位との報道も同じ国勢調査からあっていました（長崎市がワースト2位、正に本日の長崎新聞に同様の記事有）。

記事には市独自の調査でも「消滅可能性都市」が発生し「市内に危機感が広がった」とあります。そしてワースト1位返上のため数々の施策や事業が展開され暮らしやすいとの評価が得られたのだろうと推察されます。

さて、長崎市は…私からみればまだまだ危機感が足りないように思われます。そして県政の立場で一段高いところから本県の人口減少の特徴に視点を当てると他県と比べて県庁所在地、それに次ぐ都市（佐世保市）の「人口のダム機能が果たされていない」ことがわかります。ここをなんとかせねば！急務の課題です。

先日長崎市の担当部長を訪ね、とにかく「雇用創出が大事」でそのために県と市が今まで以上に連携した施策展開をせねばならない。そのアイデアの打ち込みを春までにやりたい。知恵をだしてほしい。勉強会を立ち上げたい。」と提案してきました。党として政調会で取りかかれればと考えています。

皆さんもお知恵をどしどしお寄せくださいませ。



人口ダム機能は、九州の県庁所在地と比べて脆弱

転出超過県の県庁所在地の転出超過状況 (H17からH22まで)

県庁所在地名	県内市町村(県庁所在地除く)から県外への転出超過数(人)	県内市町村(県庁所在地除く)から県庁所在地への転出超過数(人)	総転出超過数(人)	県庁所在地の転出超過カバー率
	A	B	A+B	B/(A+B)
鹿児島市	3,855	5,461	9,316	58.6%
宮崎市	4,431	5,007	9,438	53.1%
熊本市	6,050	1,545	7,595	20.3%
佐賀市	3,754	579	4,333	13.4%
長崎市	18,590	681	19,271	3.5%
計	36,680	13,273	49,953	26.6%
参考:佐世保市	4,164	460	4,624	9.9%

(資料)H22国勢調査、長崎県「長崎県長期人口ビジョン(仮称)」

九州・山口8県の人口 (単位:人)

	平成27年調査	前回調査	増減
福岡	5102871	5071968	30903 (0.61%増)
佐賀	833245	849788	16543 (1.95%減)
長崎	1377780	1426779	48999 (3.43%減)
大分	1166729	1196529	29800 (2.49%減)
熊本	1786969	1817426	30457 (1.68%減)
宮崎	1104377	1135233	30856 (2.72%減)
鹿児島	1648752	1706242	57490 (3.37%減)
山口	1405007	1451338	46331 (3.19%減)